

# 本校のICT教育と 情報教育環境について



# 発表 目次

- 伏木高校について
- 情報教育関連施設と機器
- 生徒の実態と教育課程
- 生徒の施設活用状況
- 今後の課題と解決に向けて

## 伏木高校について

- 県内唯一の国際交流科単独校
- 各学年3クラス
- 北(北東)側は海岸(国分浜)より500m  
西側は二上丘陵の東端  
東～南は閑静な住宅街
- 国際交流科ということで、海外からの来校と交流事業が多い。

- 第二外国語として、中国語、韓国語、ロシア語を学習
- 2年生で語学研修として各国の友好校へ、それぞれ5～7日間、ホームステイを取り入れた研修旅行を実施。

中国語選択者	中華人民共和国大連市 大連第十二中学
韓国語選択者	大韓民国水原市 清明高校
ロシア語選択者	ロシア共和国 ウラジオストク市 ガルモニア校

# 本校の情報教育関連 施設・機器について

- 本校のコンピューター教室
- 授業風景
- 視聴覚室
- 移動式液晶ディスプレイ

# コンピューター教室

## 教室全景



生徒用として40台  
デスクトップ  
PCがある。

2台に1台  
の割合で  
教師から  
の提示用  
ディスプレイ  
がある。

# コンピューター教室のプリンター



左：モノクロプリンター  
右：カラープリンター

# コンピューター実習授業風景



授業中  
40台の  
PCが  
フル稼働  
する。

# 視聴覚教室



天井には  
固定式の  
液晶プロ  
ジェク  
ターが  
設置して  
あり、  
講演会や  
skypeの  
授業が行  
われる。

# 移動式液晶ディスプレイ



昨年度（平成27年度）より3台導入された。

各階1台が割り当てられており、主に社会や理科の授業で使われている。

このほか、生徒指導部ではタブレットPCが5台導入され、各種行事や部活動で使われている。（動画の撮影等）

# 本校生徒の実態について

本校に入学してくる生徒に、小学校や中学校でどの程度コンピューターを使ってきたか、を聞いてみると、1割ほどの生徒は中学校で、ワードやパワーポイントを使ってプレゼンテーションの経験があるが、大半の生徒はほとんど使ってきていない実態がある。

中学校の授業では操作をしてきているが、生徒のほとんどは操作を忘れている状態である。

# 本校の情報教育計画

本校では1学年で社会と情報を実施している。

入学時で、ほとんどの生徒がスマートフォンを所持している。(入学者120名中、持っていない生徒は1～2名程度)

半数近くの生徒は、高校入学に合わせてスマートフォンを所持するようになっている。

この実態に合わせ、1学期に情報モラルやセキュリティ、著作権に関する授業を行っている。

# 社会と情報 指導計画(概要)

## ・1学期

ネットトラブル、情報モラル、著作権  
個人情報保護の保護、メディアリテラシー

## ・2学期

文書処理ソフトウェア、表計算ソフトウェア、  
プレゼンテーションソフトウェアの操作  
ネットワークの活用

## ・3学期

情報システムの発達と社会、情報社会

# 本校における 生徒の自主的な施設・機器の活用

本校では放課後に生徒が自由に使えるように  
コンピューター教室を開放している。

放課後に、生徒は情報を初めとして、各教科  
や進路についての課題等を実施している。

特に2年生の2学期後半から3年生の1学期  
にかけて、2年生の12月または3月に実施され  
る海外語学研修の事前学習や語学研修報告書  
の作成、一部はプレゼン準備などで、使わない  
日は無いほど利用されている。

# 今後の課題

- 1年生の1学期に情報モラル、セキュリティ、著作権に関する授業を行っているが、SNSへの書き込みで不注意な書き込みや不適切な写真の掲載などが後を絶たない。
- 放課後のコンピューター室の利用では、使用上の決まりを守らない生徒の存在。
- スマートフォンのタッチパネルの一般化でキーボード入力になかなか慣れない。
- 年々、キーボード操作をしっかりと経験してくる生徒が少なくなっている。

# 課題の解決に向けて

○ 情報モラルやセキュリティ意識、著作権に関する学習は、今後も着実にやっていくしかない。特に著作権と個人情報保護に関しては学習しても意識が低く、レポートの作成ではネット上の画像等を無意識にコピーして使おうとする。

またSNSには自分だけでなく、友人や他人が写っていても特に断り無しで投稿する者が多い。

著作権や個人情報意識の向上を図っていく必要が高い。

- 放課後の利用については、なかなか教室に張り付いて指導ができないが、生徒へ利用の決まりを徹底していく。
- 生徒がキーボード入力に不慣れな状況なので、授業はまずキーボード入力から始める必要がある。Wordで文字の入力と文字飾りを一通り体験させ、時間をかけコンピューターに慣れてもらうことが必要である。